



インターネットから子どもを守る

2月2日（日）八幡西区小学校PTA指導者研究集会が、九州共立大学を会場に開かれました。八幡西区小学校32校のPTAの皆様が300名近く集まり、充実した研修が行われました。本校PTAが全体のお世話をしてくださり、立派な会にいただいたことに心からお礼を申し上げます。

さて、会の中で、「子どもたちのインターネット利用問題と家庭での取り組み」という題で、講師の方よりお話がありました。保護者の方を対象とした大変わかりやすいお話でしたので、ここに要点を書かせていただきます。「子どもに自由にインターネットや携帯電話を与えることは、夜の繁華街に子どもを一人で行かせることよりもはるかに危険度は高い。」ということを知ったことがあります。ご家庭での取り組みの参考にいただければ幸いです。



- ネット利用に関わるトラブルには様々あるが、①大人が心配するものと、②大人が理解できないものがある。（①ネット依存、詐欺被害、有害コンテンツ）（②メッセージサービス利用に関わるもの《友人との行き違い、仲間外れ、長時間利用》、悪意のある大人による誘い出し《性犯罪》、不適切発信《炎上と個人特定》）
- インターネットのよさ（安上がりで効果的）、パソコンがなくてもインターネットにつながる時代（ゲーム機、音楽プレーヤー、娯楽・学習タブレット）※パソコンや携帯をもたせていなくても安心できない
- インターネットの4つの特性（①書き込みや写真は世界中に公開される。秘密が守られるかは相手次第。②送った写真や文章は取り消せない。簡単に拡散しその行方も把握できない。③匿名性はない。末端の特定は容易、複数の書き込みで推測も可能。※電車の駅、窓からの風景、学校名などを書き込めば類推できる。④人生に大きく影響する。失敗が帳消しになりにくい。）
- 今日帰ってしていただきたいこと（①詰問、説教、取り上げ、覗き見は禁じ手。心配なことを素直に伝え、子どもの状況を聞く。③トラブルの一時受けと

めを宣言。※何があってもすぐに第一に親に言うこと④機器を所有させないという方法《親が所有して子どもに貸し与える方法をとると、口出しができる。④大人自身も考えていかなければならない「長時間利用」

- 機器ごしのコミュニケーション（○論理的で正確な電卓ができる。○現実の制約《物理的・社会的》から自由、△文章表現だけが頼り《誤解を生みやすい》、△サービスの仕組みや機能から強い影響を受ける。）⇒伝わりにくさとその背景を知り、複数のサービスや実際に顔を合わせてのコミュニケーションと使い分ける。
- 大人同士のつながりが鍵（①子どもより詳しい大人は少ない。②他の家庭での様子は見えにくい。③「うちの子だけは大丈夫」では守れない。④身近に詳しい人を見つけておく。⑤ヒヤリハットしたことやいろいろな情報を大人同士で積極的に共有する。地域で助け合いを。）

インターネットトラブルを早期発見するために

- ☐ ふだんからお子さんとインターネットについての会話をしていますか。
- ☐ お子さんがインターネットの話題を避けたり落ち込んだりしていませんか。
- ☐ お子さんが利用しているインターネットコンテンツを知っていますか。
- ☐ 携帯電話の毎月請求が極端に増えていませんか。
- ☐ 夜遅くまで携帯電話やパソコンを使っていますか。



トラブルを未然に防ぐために

- ☐ インターネットトラブルについて、親子できちんと理解した上で、お互いが納得できるルール作りをしましょう。
- ☐ お子さんがちゃんとルールを守っているか定期的に確認をしましょう。

ルールの一例

- ☐ インターネット上でも礼儀を守る。
- ☐ 他人の中傷に参加せず、中傷を受けても過剰に反応しない。
- ☐ 不用意に個人情報（住所、氏名、アドレス）などを書き込まない。
- ☐ フィルタリングなどのサービスを利用する。
- ☐ インターネットの使用は時間を決めておく。
- ☐ 夜間は携帯電話を決められた場所に置く。

